

社会福祉法人ユーカリ福祉会

平成 30 年度

## 八国山保育園事業報告



社会福祉法人ユーカリ福祉会

八国山保育園

【本園】〒189-0022 東村山市立野口町 1-5-6

【分園】〒189-0022 東村山市野口町 1-6-10 1階

TEL042 (391) 0128 FAX042 (391) 0412

E-mail:yuukari.hachikokuyama@nifiy.com

## 1. 運営管理

### (1) はじめに

「就学前教育の必要性」「待機児童問題」「子どもの虐待問題」等さまざまな社会情勢を注視しながら日々の保育を心がけてきた。10月に第三者評価機関により行われた調査では、総合的な満足度では「大変満足」73.6%「満足」24.2%と満足以上への回答が97.8%と、全体的な満足度は前回に引き続き高いものとなった。利用者のコメントからも園が推進する戸外遊び、食農保育、動物飼育に対する賛辞や感謝の声を寄せて頂いた。このことは、統括主任をはじめ、職員が一致して取り組んできたことによると考えられる。

乳幼児期の発達の連続性に考慮した保育について、それぞれ専門的な知識と技術を磨き、保育理念、目標に向かい、スキルアップを図ることが出来るよう研修や書籍からの学びを心がけた。園庭の大型遊具も保護者の力も借りながら完成させていった。

並行して年間を通し、命の大切さにつながる活動を計画的に見直した。動物介在型保育を進めていく中で、雌犬を新たに向かい入れ、生活の場で更に触れる機会を作っていた。職員間でも園全体の飼育活動の再構築に関して話し合い考えていった。

多様な保育の充実面では、特別な配慮を必要とする子への学びを増やし、さらに虐待問題にも園内研修を2回年度初めに設け、支援を試行錯誤していった。

益々多様化している、保護者支援、地域の子育て支援に関して、園だけでは対応の難しいケースも増えており、自治体の支援機関や専門家との連携を引き続き行った。市内の社会福祉法人連絡会との連携を含め、地域包括支援の更なる取り組みも行っていったが課題は残ってしまった。

人材確保のための対策として、働きやすい職場環境をさらに整え、安心かつ安全な保育を職員一同で心がけていった。判断に迷う場合は受診をしていった為、事故報告やヒヤリハットの件数が上がってしまったが、その都度ケースを職員会議や全体会議の場で共有していき、経験の浅い職員にも共通認識を増やしていくことを務めた。保育活動に必要な保育者の専門知識や技術向上のための職員がやりがいをもって行っていくことを念頭に、保育の質を高め、職員の業務軽減化の工夫は、次年度継続の課題となってくるようだ。

### (2) 基本方針

園目標の「豊かなところと丈夫なからだ」を全職員が意識しながら、食農保育、育児担当制や異年齢保育の実践を重ねてきた。保育理念、基本方針については、入園進級説明会において保護者、職員に説明した。事業計画書、園のしおりに明文化し、職員には事業計画書、園のしおり、保護者には園のしおりを配布した。毎月の園だよりではさらに詳細を明記していった。全職員周知していく為、打ち合わせや、確認の時間も計画立てて確保していった。

### (3) 組織運営

#### ①平成30年度職員体制（平成31年3月末時点）

園長	1人	運営管理・全体統括			
事務長	1人	事務統括	統括主任	1人	保育統括分園責任者
主任	1人	幼児責任者	副主任	1人	乳児責任者
保健主任	1人	衛生推進者	食育主任	1人	給食担当責任者
幼児リーダー	1人	幼児責任者補佐	乳児リーダー	1人	乳児責任者補佐
地域支援リーダー	1人	一時保育責任者	障がい児リーダー	1人	ケア担当責任者
地域支援リーダー	1人	地域対策責任者	保育文化リーダー	1人	クラス・陶芸責任者
食農リーダー	1人	分園給食責任者	栄養リーダー	1人	広報責任者
環境飼育リーダー	1人	地域太鼓責任者	保育実践担当リーダー	1人	一時保育責任者補佐

0歳児組担任	☆2名
1歳児組担任	☆3名
2歳児組担任	☆3名
幼児異年齢①	☆2名
幼児異年齢②	☆2名
幼児異年齢③	☆2名
一時保育保育士	☆2名
フリー（1歳児）	☆1名（H30.7.1より復職）
分園0歳児保育士	☆1名
分園1歳児保育士	☆2名
分園2歳児保育士	☆2名
看護師	☆1名
分園看護師	P1名
給食調理【本園】	☆2名
	P4名
	【分園】☆1名

☆=責任者 P=パート職員

非常勤 パート アルバイト

ひよこ（0歳児）担当・ひよこ（0歳児）延長保育補助

ひよこ（0歳児）早朝補助・ひよこ（0歳児）補助

ぺんぎん（1歳児）早朝 乳児延長保障 フリー

ぺんぎん（1歳児）補助 幼児早朝 補助

ぺんぎん（1歳児）延長保育補助（H30.4月～6月）分園延長保育補助（H30.7月より）

はと（2歳児）補助（H30.5/14まで）・延長保育補助 乳児早番保障

はと（2歳児）補助（H30.7月から）

いちょう（幼児）補助 はと（2歳児）早朝

いちょう（幼児）補助 幼児延長保障・いちょう（幼児）延長保育補助  
さくら（幼児）補助 幼児早朝・さくら（幼児）補助  
あひる（一時保育）補助 さくら（幼児）延長保育補助  
けやき（幼児）補助・けやき（幼児）補助 延長保育補助  
はと（2歳児）早朝 幼児休暇保障

【給食調理】

乳児休暇保障

給食調理4名

あひる（一時保育）補助

幼児異年齢（夏期・冬期）

【分園】

早朝 延長保障

早朝 日中保育補助

休暇保障

早番保障 延長保育補助

日中保育補助（H30.5月まで）

【分園保健】

看護師業務補助

土曜パート保育士 1名（AM：第2・4） 1名（AM第2・4）  
2名（日中）

② 平成30年度中採用職員（正規職員）

保育士2名(4/1付)・1名(7/1付)

③ 平成30年度中採用職員（非常勤・パート）

保育補助 2名（4/1付）・1名（7/1付）

調理補助 1名(4/1付)

短期アルバイト 1名（夏季・冬季）

④ 平成30年度中退職職員（正規職員）

保育士 1名(12/31付)・2名(3/31付)

⑤ 平成30年度中移動（中野南台）職員（正規職員）

統括主任保育士(3月末) 保育士(3月末)

⑥ 平成30年度中退職職員（非常勤・パート）

保育補助 1名（5/24付）・1名（3/31付）・2名（派遣契約満了3/31付）・

調理補助 1名（3/31付）

⑦平成30年度中産休育休取得職員

保育士（H29.5月からH30.12月）

栄養士（H30.8/7～産休11/27～育休取得）

非常勤保育士（H30.5/14～産休9/7～育休取得）

職員参加による保育の質の向上や改善の取り組み

・春・秋に園長・統括主任との面接の実施

自己の職務の目標や到達度の確認、課題の整理を行うとともに、職員の考えや意見を運営に反映す

る機会とした。

- ・随時職員と園長・統括主任との面談

クラス内の、また配置場所の問題点や仕事上の悩みを聞き、ともに考え、問題解決の方法を探った。

- ・職員研修の実施

(園内研修) 日々の保育についての振り返りを行い、大切にしたい保育のねらいや目標を再確認しながら研鑽に励んだ。

回	月 日	研 修 内 容	担 当 者 ・ 講 師 者
1	4月2日	調乳、オムツ交換について	乳児責任者、他職員
2	4月11日	応急処置、救急箱確認	看護師
3	4月18日	障害児研究会(毎月)	外部講師
4	4月19日	保育事例研修(ビデオ)	研修係
5	5月18日	手作りおもちゃ研修(制作を含む)	研修係
6	6月28日	救命講習	日本赤十字
7	7月2日	わらべうた	外部講師
8	9月10日	わらべうた	外部講師
9	9月14日	他園見学研修報告、意見交換研修	研修係
10	9月27日	親子で健康体育	外部講師
11	10月10日	保育の振り返り1日研修	外部講師
12	11月22日	動物との関わり方	外部講師
13	11月22、 24、25日	保育の見直し・樋口氏の研修を受けて (半期反省会議を含む)	研修係
14	1月31日	わらべうた	外部講師
15	3月23日	次年度に向けて	園長・研修係

(園外研修機関等での研修)

一人一人の子どもを大切に保育することを学ぶための定期研修に職員を派遣した。育児担当制や異年齢保育、感染症予防、虐待防止等の子どもの人権に関わる研修にも派遣した。

月	日	研 修 内 容	主 催 ・ 研 修 先	参 加 者
5/16		保育行政及び指導検査研修会	東京都民間保育園協会	1名
5/28、6/21、7/13		栄養管理講習会	多摩小平保健所	3名
5/29		熱中症予防対策研修会	東村山市学務課	1名
6/10		保育創造セミナー	木楽や	6名
6/11		歯科保健担当者研修	多摩小平保健所	1名
6/12、13		東京都保育研究大会	東京都社会福祉協議会	1名
6/13		小規模プール衛生管理講話	小平保健所	1名
6/15		保育所保育指針解説書セミナー	日本保育協会	3名
6/25		たてわりサミット	たてわり保育を学ぶ会	1名
7/19、27、31		保育園見学会	石神井さくら保育園	10名
7/28		文化セミナー2018	こどもの友社	3名
8/2		配偶者暴力(DV)と子供	東京ウィメンズプラザ	2名
8/7、8、9		就学相談研修会	東京都特別支援教育推進室	3名
8/26		子どもの文化夏季セミナー	子どもの文化学校	1名
8/27		子どもの健康づくり教室	日本健康体育協会	2名
9/5		食の「感覚過敏」研修	東村山市公私立合同研修会	全員
9/18		保育所保育指針の解説とポイント	東村山市連絡協議会	全員
10/5、12/14		アレルギー対応体制強化研修	東京都健康安全研究センター	2名
10/10、11/22 12/7		平成30年度栄養管理講習	多摩小平保健所	2名
10/11、12		平成30年度支援シート説明会	東村山市教育委員会	3名
10/30、11/28		平成30年度保育園リーダーセミナー	東社協保育部会	1名
11/15、16		衛生管理者制度対策講座	労務管理教育センター	1名
1/20		第5回ぐうたら村保育セミナー	ぐうたら村	2名
2/4		子どもの発達の理解と支援について	東村山市教育委員会	3名
2/5		保育園見学会	石神井さくら保育園	7名
2/24		子どもの文化 春のセミナー	子どもの文化学校	5名

#### D. 会議

##### ア) 職員会議

月	日	主 内 容
4月	12日	事故報告、子どもの日について、広報について、アレルギー対応について、事業計画について、4月の行事について、園だよりの内容確認
5月	10日	保育展、事故報告、親子ふれあいデー、5歳児お泊り保育、ケア担報告、親睦会
6月	14日	職員意向調査、人事、夏祭り、プール開き
7月	12日	ヒヤリハット、ブロック塀調査、年間計画会議続き、プールについて、研修報告、4歳児お泊り保育、
8月	3日	事故報告、ヒヤリハット、防犯訓練、夏祭り反省、親睦会、年長美術館見学、運動会、
9月	13日	ヒヤリハット、祖父母ふれあいデー、研修報告、運動会、親睦会
10月	11日	保育要求、保育振り返り研修について
11月	15日	ヒヤリハット、運動会反省、きらきらの会、環境飼育
12月	13日	事故報告、衛生委員会より、冬まつり、鏡餅について
1月	17日	園庭遊具について、節分について、卒園式、保護者要望について
2月	14日	責任者会議報告、0、1歳受け入れについて、ツリーハウス、防犯訓練
3月	14日	研修報告、面接報告、責任者会議報告、進級入園説明会、事故報告

イ) 保育会議

月 日	主 内 容
4月26日	草もち作りについて、親子ふれあいデーの件、防犯訓練反省より
5月24日	6月行事、親子ふれあいデー、5歳児お泊まり、夏祭り、環境、田植えについて
6月28日	ヒヤリハット、事故報告、防犯訓練、七夕について
7月26日	ヒヤリハット、事故報告、夏祭り反省、
8月30日	防犯訓練、広報、4歳お泊まり保育、ヒヤリハット、運動会、祖父母ふれあいデー、動物飼育
9月27日	衛生委員会、事故報告、一時保育アレルギー、10月行事、運動会、研修報告
11月27日	文集、冬まつり
12月27日	キラキラの会、12、1月、2月行事、冬まつり、
1月31日	事故報告、冬まつり、2、3月行事、卒園式
2月27日	研修報告
2月28日	研修報告、3月行事、計画有給
3月1日	アレルギー対応、衛生委員会、早遅仕事確認、卒園式反省、乳児日誌

ウ) その他の会議

会議名	特 筆 事 項
乳児会議	乳児クラス職員 統括主任 看護師による会議 月1回を実施
幼児会議	幼児クラス職員 統括主任による会議 月4回実施
乳児リーダー会議	乳児クラス責任者 統括主任による会議 月1回を実施
責任者会議	園長、統括主任 主任 部署責任者における運営会議 月2回実施
給食会議	栄養士、園長 統括主任による会議 月1回実施
年間保育計画会議	年間カリキュラム確認 年度保育方針等の確認 6/9 実施
半期保育反省会議	上半期の保育内容の反省と後期計画見直しの会議 10/22、24、25 実施
年間保育反省会議	年度に実施した保育内容についての反省会議 1/26 実施
クラス会議	クラス単位でのカリキュラム会議 月1回実施
パート会議	園長、統括主任、主任、部署責任者、パート職員による会議 4/20、6/19、10/29、12/18 実施
夏まつり会議	正規職員による全体確認会議 7/6 実施
運動会会議	正規職員による全体確認会議 10/4 実施
キラキラの会会議	正規職員による全体確認会議 12/6 実施
冬まつり会議	正規職員による全体確認会議 1/10 実施

(3) 園と地域との関係性・保護者との良好な関係の構築

地域活動の一環として、子育て家庭の見学者は、次年度入園を希望しての見学も含めて42組（前年比11組減）あった。当園は、入園にあたってのポイント数が加点なしでは入ることが難しい傾向にあるためか、入園希望の見学も的を絞って来園していることが伺われる。一時保育29（前年比18%増）名、大人は10名だった。出産後間もない家庭の方々が、保育園に求める事をしっかりと把握し、次年

度へつなげていきたい。その他保育の勉強のための見学が4（前年比1名減）名（関係機関からの見学者は除く）。就職希望者の見学は5名（前年比1名減）あった。

北部子育てエリアの円卓会議に園長が出席し、地域の子育てに関わる団体や個人との交流及び情報交換、情報紙作成等を行った。また、地域の行事に参加（正福寺の防災訓練の見学、諏訪神社大祭、猿田彦神社例祭等）した。

職員と保護者で活動している「エイサーの会」は、市内老人施設（白十字ホーム）に参加し地域との交流を深めてきた。卒園児（2名）も交えて活動ができた。

化成小との連携では、園長が評議委員を継続し関わりを深めた。運動会や学校公開等にも職員が伺い、卒園児の成長を見ることができた。年長児は、就学を見据え1年生との交流を行った。

化成学童クラブとも初めて年長児が交流を行った。老人ホームへ毎月年長児が訪問し、交流を図った。

保護者の保育参加は、本園204名、分園12名、卒園児39名、一時保育29名、年間延べ245名であった。月1回ゴミ拾い散歩は実施に至らず、次年度へ課題検討を残す形となった。

隣接する家庭より苦情1件。園庭樹木選定の際に切りカスがベランダに入ってしまったことが原因。速やかに職員会議で共通理解を図り、改善へ向け対策をとった。市の所管へも書面をもって報告を行った。

地域向けに、年10回の地域向けの便り「八国山通信」を毎月30部発行。

ジョイファームと連携し、協力生産者や地域の食育活動との関わりを通して地域交流を深めた。

## 2. 子どもの発達援助・子育て支援

保育所保育指針の改定に伴い、職員全体で保育指針を見直し全体の計画に変更していった。

市内、保幼小連絡会に統括主任が参加し連携を図った。

### (1) 入所児童状況

#### ① 月別園児編成表（初日在籍人員）

（本園）

（分園）

月	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	月	0歳	1歳	2歳	合計
4	8	13	16	26	27	26	116	4	3	8	9	20
5	8	13	16	26	27	26	116	5	3	8	9	20
6	8	13	16	26	27	26	116	6	3	8	9	20
7	8	13	16	26	27	26	116	7	3	8	9	20
8	8	13	16	26	27	26	116	8	3	8	9	20
9	8	13	16	26	27	26	116	9	3	8	9	20
10	8	13	16	26	27	26	116	10	3	8	9	20
11	8	13	16	26	27	26	116	11	3	8	9	20
12	8	13	16	26	27	26	116	12	3	8	9	20
1	8	13	16	26	27	26	116	1	3	8	9	20
2	8	13	16	26	27	26	116	2	3	8	9	20
3	8	13	16	26	27	26	116	3	3	8	9	20
合計	96	156	192	312	324	312	1,392	合計	36	96	108	240

#### ② 平成30年度新入園児（29名（本園20名・分園9名）：月表示の無いものは4月入園

（本園） 0歳児 8名  
 1歳児 5名  
 2歳児 3名  
 3歳児 2名

- 4歳児 2名
- 5歳児 なし
- (分園) 0歳児 3名
- 1歳児 5名
- 2歳児 1名
- ③ 平成30年度卒園児 26名
- (2) 障がい児保育 4名

(3) 延長保育事業

月別時間利用児数

本園

時 月	間	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
18:01	—	337	375	347	377	220	290	321	385	322	296	362	394	4026
18:30														
18:31	—	209	209	235	243	113	176	205	223	202	174	246	270	2505
19:00														

分園

時 月	間	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
18:01	—	12	17	22	47	36	35	41	47	37	40	42	38	414
18:30														
18:31	—	3	6	12	27	13	16	20	21	13	19	24	22	196
19:00														

(4) 一時預かり保育事業

利用時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4時間未満	6	3	7	10	15	12	11	7	6	7	7	3	211
4時間以上	128	128	128	136	148	129	163	160	146	141	148	167	1605
合計	134	131	135	146	163	141	174	167	152	148	155	170	1816

(5) 連携保育所事業

家庭福祉員連携保育所として、ことり保育室の家庭福祉員との連携を行った。

月毎に担当（統括主任保育士、看護師、栄養士）が順番に訪問し情報交換を行った

(6) 行事

月	日	曜日	行事	備考
4	6	金	健康体育	
	13	金	ポニーふれあい	
	17	火	健康体育	
				避難消火訓練

5	1	火	健康体育	《懇談会》※本園分園合同 ひよこ 7日 ぺんぎん 16日 はと 14日 いちょう 10日 さくら 8日 けやき 9日 避難消火訓練
	12	土	親子ふれあいデー（雨天の為中止）	
	18	金	ポニーふれあい	
	21	月	健康体育	
6	1	金	きりんお泊まり保育	年間保育計画会議 9日        避難消火訓練
	2	土	きりんお泊まり保育	
	5	火	健康体育	
	6	水	市内観劇	
	15	金	ポニーふれあい	
	18	月	歯科指導	
	22	月	健康体育	
	26	火	プール開き	
7	3	火	健康体育	避難消火訓練
	10	火	ポニー交流	
	14	土	なつまつり	
	17	火	健康体育	
	25	水	保健指導（栄養とうんち）	
	30	月	秋水園プール（きりん）	
8	10	金	ポニーふれあい	避難消火訓練
	14	火	健康体育	
	24	金	丸木美術館（きりん）	
	28	火	健康体育	
9	3	月	災害引き取り訓練	防災総合訓練
			ポニー交流	
	4	火	健康体育	
	5	水	プール納め	
	7	金	うさぎお泊まり保育	
	8	土	うさぎお泊まり保育	
	14	金	祖父母ふれあいデー	
	21	金	健康体育	
26	水	健康体育		
10	6	土	運動会	半期反省会議 22、24、25日    避難消火訓練
	16	火	健康体育	
	23	火	魚の会（さんま）	
	24	水	ポニーふれあい	
	26	金	交通安全教室	

11	6	火	健康体育	《懇談会》本園分園合同 ひよこ 6日 ぺんぎん 13日 はと 20日 りす 22日 うさぎ 15日 きりん 8日 避難消火訓練
	8	木	健康体育	
	15	火	健康体育	
	18	金	日和田山山登り(きりん)	
	24	木	収穫祭	
	29	火	芋煮会	
12	8	土	きらきらの会	ツリーハウスワークショップ(22日)     避難消火訓練
	14	金	健康体育	
	18	火	健康体育	
	21	金	ポニー交流	
	26	水	鏡餅作り	
	28	金	保育納め	
1	4	水	保育始め	年間反省会議(28日)       避難消火訓練
	5	木	鏡開き	
	10	火	ポニーふれあい	
	12	木	どんど焼き	
	14	土	ふゆまつり	
	17	火	健康体育	
	26	木	魚の会(三平汁)	
	31	火	健康体育	
2	8	金	ポニー交流	《懇談会》本園分園合同 ひよこ 8日 ぺんぎん4日 はと 1日 いちょう 6日 さくら 7日 けやき 5日 避難消火訓練
	12	火	健康体育	
	26	火	健康体育	
	28	木	健康体育	
3	1	金	ポニー交流	避難消火訓練
	12	火	新入園児面接	
	16	土	卒園式	
	19	火	健康体育	
	25	土	入園進級説明会	

(7) 建物修繕・設備管理

項 目 名	項 目 名
調理室コンロ器具栓修理	ガスパワー発電機
扉フラットレール取替	タンポックス車検
蛇口ジョイント修繕	園庭のぼり遊具設置

デジタルカメラ電池交換	
パソコン予備電源電池交換	
園庭水路修繕	
洗濯機修理	
園庭樹木伐採作業費用(2回)	
散歩車修理	

(8) 保育要求に係る保護者アンケート (父母会実施)

## 2. 地域住民・関連機関との連携

### 実習生・ボランティアの受入れ

(1) 保育士養成校

学校名	学年
秋草学園短期大学	地域保育学科 2年 幼児教育学科 2年 幼児教育学科 1年
東京都市大学	人間科学部児童学科 3年 人間科学部児童学科 3年
東京家政大学	児童学科 2年
女子栄養短期大学	給食管理研究室 2年 給食管理研究室 2年
白梅学園大学	こども学科 3年 こども学科 2年
淑徳大学短期大学部	こども学科
日本デザイン福祉 専門学校	保育子どもデザイン学科

(2) 保育園

南台保育園	6名	保育士
-------	----	-----

(3) 市内ケア担当者交流受け入れ 8名

(4) ボランティア・職場体験等

夏体験ボランティア (ボランティアセンター) : 中学生 6名 職場体験 : 2中 2年 3名 卒園児 : 高校生 1名 (毎週木曜日)
--

### 小学校との連携

月 日	内 容	学 校 名	参 加 者
5/17	保幼小連絡会	市内全保育園、幼稚園、小学校	統括主任
10/26	保幼小連絡会	市内全保育園、幼稚園、小学校	統括主任
2/19	化成ランド(1年生と交流)	化成小学校	5名
2/21	学校公開、懇談、要録届出	久米川東小学校	2名
2/25	要録届出	化成小学校	2名
	要録届出	北山小学校	1名
2/28	学校公開、懇談、要録届出	久米川小学校	1名

## 4. 健康管理・食事

### 調理室

#### (1) 給食提供の工夫

- ①数多くの食品、調理法に慣れ、味覚形成と偏食の防止に努めた。
- ②食品の持ち味を大切に、塩味、甘味を控え薄味に心がけ、生活習慣病予防に努めた。
- ③種々の食品をバランス良く（量と質、主食、副食、汁物）食べられるように配慮した。
- ④食べる意欲や心を育てる環境や雰囲気作りをこころがけた。
- ⑤適切な汁鍋へのサイズ変更、調理室内でのオープンでの保温、クラス内でのIH調理機による保温など、給食を適温で提供できるようにした。
- ⑥食事のマナーを覚えていく様に伝えてきた。
- ⑦食器は全て成分溶出の心配がなく料理が映える白磁器を使用した。
- ⑧アレルギー児や障害児に対して、除去食・代替食・刻み食等、保育園で可能な限りの個別的ケアをした。
- ⑨月に一度、精進の日として出汁以外の動物性食品を使用しない献立を提供してきた

#### (2) 献立内容

- ①米飯、和食を主体としたバランスのとれた献立内容に配慮してきた。
- ②天然素材や添加物の少ないもの、国産のものなど安全性の高い食材や、地域の畑で育てて頂いている野菜を献立に多く取り入れた。旬のものである畑の野菜の利用で、同じ食材の使用が多くなってしまいうことがあったが、献立の種類を増やしたり調理法を変えるなどしてできるかぎり変化をつけて提供できるように努めてきた。
- ③献立内容に合った飲み物の提供及びアレルギー児の誤食のリスクを低くするために、おやつ飲み物を牛乳だけでなく1日の栄養量と献立内容に合わせた上で麦茶も提供してきた。

#### (3) 離乳食

- ①個別に配慮し、特にアレルギーの関係上、動物性蛋白質の与え方に注意してきた。また未摂取食材チェック表を活用し確認してきた。
- ②冷凍母乳の推奨をしてきた。
- ③児童の口の中での発達に合った調理形態、食具（グリップ部分が太いものの導入など）を用意し対応した  
\*月齢のみにこだわらずに、個々の様子に合わせて担任保育士や保護者と相談しながら進めてきた。月齢が高かったこともあり、順調に完了食・乳児食と移行できた。クラスとの話し合いだけでなく実際の喫食状況を確認するように努めていく。

#### (4) 災害時の非常食

園舎裏に食品倉庫を設け3日分（無洗米、おかゆ缶詰、ようかん、粉ミルク（スティックタイプ）、乾燥野菜）を確保してある（飲料水に関しては井戸があり、また広域避難所である小学校がすぐ近くにあるため2.5日分となっている）。また食料以外にも炊出し用のかまどや簡易トイレ、オムツ、燃料、非常用の道具、水節約のため使い捨て食具等を各倉庫に振り分け備蓄してある。

#### (5) 衛生管理

- \*食中毒の発生防止で、調理工程等で重要管理事項を定めた大量調理施設衛生管理指針を遵守してきた。
- \*本格的な食中毒シーズンを迎える前には、調理一斉点検を実施した。
- \*集団給食衛生管理者に対し、食品の衛生管理に関する研修を徹底してきた。
- \*食中毒シーズンは、家庭に対して食中毒の発生防止に資する情報を提供した。
- \*たんぱく質食品の中心温度測定、毎日の調理従事者の衛生チェック、納入時の品温測定、汚染物と非汚

染物の区分け、接触による交差汚染の防止、次亜塩素酸ナトリウムによるこまめな消毒、調理室内・食品庫の清掃等の食中毒事故防止に配慮してきた。

#### (6) アレルギー児への対応

アレルギー児に対しては診断書を持参してもらい対応基準に沿って、保護者、看護師、クラスと充分話し合い協力しあいながら対応してきた（卵4名、卵・乳製品2名、卵・乳製品・キウイ・落花生1名、魚1名）。一時保育の利用児にも対応をしてきた（卵5名、乳・乳製品・卵2名）。

#### (7) 家庭との連絡

- ①毎月の食農だよりにて父母へ随時、栄養メモ、料理紹介等を行なった。
- ②必要に応じて懇談会に出席した。
- ③ 離乳食、普通食ともに当日の給食を展示した（5月下旬から10月初旬まで衛生面の配慮から写真展示）
- ④保育参加や懇談会に参加された保護者に給食を提供し好評を頂けた。

#### (8) その他

地域向けに「じゃがいも収穫（じゃがいもの味噌だれ）」「さつまいも収穫（蒸かし芋）」「里芋の収穫（芋煮）」を畑で開催した。地域の方たちにも多く参加してもらうことができ大変好評だった。

#### (9) 行事食

月 日	行 事	調 理 室 の 対 応
7/14	夏まつり	焼きそばは調理室で材料ごとに加熱し、外の鉄板で味付け フランクフルトの下茹で
9/7・8	うさぎ組(4歳児) お泊り保育	園児が野菜を買ってきて、夕方のカレーを調理する 朝食：おにぎり3種、味噌汁
10/10 ～10/19	保育フェスタ展示	保育園の給食室の一日の流れについて、野菜の折り紙、乾物 (戻す前と後)、給食レシピ配布
1/12	冬まつり	豚汁はきざみ、煮込みを父母と調理室が担当 具材の発注は調理室が行った 餅にからめるもの（きなこ、あんこ、醤油、海苔、紫芋あん）の調理 餅米の前日準備・もち米の蒸かし

\* 毎月のお誕生会にはお誕生日メニューとしてお赤飯、筑前煮、すまし汁を提供した。

\* ひなまつりや節分等、季節に応じた行事食を行なった。

#### (10) 栄養基準量・給与量

	エネルギー (cal)	蛋白質(g)	脂質(g)	炭水化物 エネルギー比	脂質 エネルギー比	動物性 蛋白質比	
<b>【1～2歳】</b>							
基準量	481	18.0	13.4	60.0	25.0	15.0	
5月	495	20.1	14.7	57.1	26.7	16.2	

8月	485	19.6	14.9	56.2	27.6	16.2	
11月	523	20.6	15.6	57.4	26.8	15.8	
2月	479	18.6	14.4	57.4	27.1	15.5	
<b>【3～5歳】</b>							
基準量	549	20.6	15.2	60.0	25.0	15.0	
5月	570	22.1	14.7	61.3	23.2	15.5	
8月	551	21.3	14.8	60.3	24.2	15.5	
11月	603	22.5	15.8	61.5	23.6	14.9	
2月	549	20.3	14.6	61.3	23.9	14.8	
<b>献立一例</b>							
<b>2018年6月11日(木)</b>		<b>幼児用(3・4・5歳)</b>		<b>乳児用(1・2歳)</b>		<b>備考</b>	
	<b>献立名</b>	<b>kcal</b>	<b>蛋白質</b>	<b>kcal</b>	<b>蛋白質</b>		
朝おやつ	牛乳	-	-	54	2.6		
お昼	ご飯	179	3.1	125	2.1		
	豚肉と切り干し大根の炒め煮	160	8.3	123	6.8		
	小松菜ともやしの香り和え	11	0.8	9	0.7		
	みそ汁(じゃがいも・かぶ)	32	1.4	25	1.1		
おやつ	牛乳	67	3.3	54	2.6		
	かぼちゃとおからの蒸しパン	143	3.7	119	3.2		
合計		589	19.2	501	17.9		

### (11) 料理保育

保育園生活の中で、食に親しむために以下のように料理保育を行った。

月	2歳	3歳	4歳	5歳
4		草もち作り	草もち作り	草もち作り
5				
6		梅干作り	梅干作り	梅干作り
7				
8				
9	お団子作り	月見団子作り	月見団子作り お泊りカレー作り	月見団子作り
10	焼き魚の会	焼き魚の会	焼き魚の会	焼き魚の会
11	芋煮会・焼き芋	芋煮会・焼き芋 たくあん作り おにぎりの会	芋煮会・焼き芋 たくあん作り おにぎりの会	芋煮会・焼き芋 たくあん作り おにぎりの会
12	かぼちゃ茶巾絞り作り	スイートパンプキン作り 鏡餅作り	スイートパンプキン作り 鏡餅作り	スイートパンプキン作り 鏡餅作り
1				
2		魚の会(三平汁)	魚の会(三平汁) 味噌づくり	魚の会(三平汁)
3				お別れカレーパーティー

## 保健室

尿検査：未提出 10 名、3 名潜血（+）二次で（-） 2 名 1 名取れず、他全員（-）

歯科検診 5 月 2 3 日 1 0 月 2 4 日

## 怪我・事故

《事故・受診報告》19 件

《ヒヤリハット》7 件

## 感染症状況

4 月 感染性胃腸炎 13 名、とびひ 1 名

5 月 感染性胃腸炎 10 名、肺炎 1 名、突発性発疹 4 名マイコプラズマ肺炎 1 名

6 月 水痘 1 名 りんご病 4 名 突発性発疹 1 名 感染性胃腸炎 5 名 流行性耳下腺炎 1 名

7 月 りんご病 2 名、ヘルパンギーナ 1 名、突発性発疹 1 名、とびひ 2 名

8 月 ヘルパンギーナ 2 名、とびひ 3 名、手足口病 1 名

9 月 夏かぜ 1 名、とびひ 3 名、RS ウイルス 1 名、肺炎 1 名

10 月 手足口病 1 名、感染性胃腸炎 1 名、突発性発疹 1 名、とびひ 3 名、水いぼ 1 名

11 月 感染性胃腸炎 4 名、りんご病 1 名

12 月 感染性胃腸炎 1 名、りんご病 1 名

1 月 インフルエンザ A23 名、りんご病 1 名、リンパ腺炎 1 名

2 月 感染性胃腸炎 2 名、水いぼ 2 名

3 月 感染性胃腸炎 2 名、水いぼ 1 名

《感染症予防の取り組み》

胃腸炎流行時、下痢便後の便座消毒、大人用トイレ便座消毒（便座キレイ君使用）、手洗い 2 度洗い配膳前に厳守を徹底周知した。高熱やインフルエンザ罹患した家人の送迎を止むを得ず行う場合は玄関での受け入れ引き渡しとした。マスク着用の協力依頼。感染症が 1 名でも発生した場合は、手の触れるスイッチ、ドアノブなどもピューラックスで拭くようにした。

## 内科検診

園医（嘱託医）

進級児検診：4/26

(1) プール前後検診：6/12 9/11

(2) 0 歳児検診：4/10・26 5/8・22 6/12・26 7/10・24 8/14・28 9/11・25 10/9・23・11/13・26 12/12・25 1/15・29 2/12・26 3/12・26

衛生委員会 委員を構成し、毎月委員会を開催し、産業医 饗庭 了医師に相談、助言を頂いた。

## 5. 安全管理

自衛消防訓練報告（消火・避難誘導訓練）

【本園】

月	種別	内容	留意点
4/15	避難消火訓練	職員休憩室より出火 消火・避難誘導活動	職員の指示に従い速やかに避難できた。 防災頭巾などの着用は今後しっかり行なっていく。
5/20	避難消火訓練	キッチンより出火、消火、避難誘導活動、通報訓練	出火による避難の訓練であったが、靴を履くか履かないかで迷ってしまったクラスもあり再度、避難時の確認が必要と感じた。

6/15	防災訓練	地震の想定、避難活動	職員が多い時間帯だった。どのように指揮をとり、伝達していくか考えながら行なう。
7/29	総合訓練	地震による火災発生 第二避難場所まで避難	消防署に協力していただき消防士による訓練指導を行なう。また、消防車見学、実際に電話をかけて通報訓練も行なう。本園分園合同で行なう。
8/4	避難消火訓練	ゴミ置き場より出火、 避難誘導活動	バケツリレーを行なってみる。スムーズに送る事が出来ず課題が見つかった。
9/1	引き取り訓練	警戒宣言時の対応	自衛消防の編成を意識して訓練に臨むことができた。
9/9	防災訓練	地震による火災発生 休憩室より出火	避難時の確認が必要
10/19	避難消火訓練	分園2階住宅より出火。 避難誘導活動	分園と合同で行なう。分園に応援に行く。
11/25	総合訓練	地震による火災発生 調理室より出火	時間未定で行なう。地震から火災発生時、靴を履くかどうか迷ってしまう。その都度確認が必要。
12/16	避難消火訓練	調理室より出火 避難誘導活動	出火による避難の訓練であったが、避難時の確認が必要と感じた。
1/20	防災訓練	地震の想定 安全防護の確認	避難時の確認が定着してきた
2/10	避難消火訓練	園庭南側ログハウス より出火。避難誘導活動	電気系統などしっかりと切れていて、地震時の避難方法が定着してきていた。
3/10	避難消火訓練	地震警戒宣言後避難 誘導活動、安全防護措置	本園分園合同で行なう。

【分園】

月	種別	内容	留意点
4/15	避難消火訓練	脱衣洗面所より出火 消火・避難誘導活動	職員の指示に従い速やかに避難できた。
5/20	避難消火訓練	キッチンより出火、消火、 避難誘導活動、通報訓練	初期消火の訓練も実施できた。 出火後、混乱なく避難することができた。
6/15	防災訓練	地震の想定、安全防護 措置、避難誘導活動	防災頭巾をかぶったクラス、机に潜ったクラス、布団をかぶったクラスなど、その場の判断で考え動いていた。
7/29	総合訓練	地震による火災発生 第二避難場所まで避難	消防署に協力していただき消防士による訓練指導を行なう。また、消防車見学、実際に電話をかけて通報訓練も行なう。本園分園合同で行なう。
8/19	避難消火訓練	ゴミ置き場より出火 避難誘導訓練	バケツリレーを行なう。分園の環境を考慮するとリレーより1人1人運んだ方が良のではとの意見もあった。検証が必要。
9/1	引き取り訓練	警戒宣言時の対応	自衛消防の編成を意識して訓練に臨むことができた。
9/9	防災訓練	地震による火災発生 休憩室より出火	
10/19	避難消火訓練	分園2階住宅より出火。 避難誘導活動	本園分園合同で行なう。初期消火担当の職員が初期消火に向かった。
11/25	総合訓練	キッチンより出火。避難 誘導活動	落ち着いて行動できていた。常勤、非常勤職員の連携もうまくとれていた。

12/16	避難消火訓練	キッチンより出火 避難誘導活動	バケツリレーを行なって消火活動。以前の反省を考慮して行なう。
1/20	防災訓練	地震の想定 安全防護の確認	
2/10	避難消火訓練	2歳児保育室収納棚より出火。避難誘導活動	1歳クラスはテラスより避難する。 時間は未定で行なう。
3/10	避難消火訓練	地震後警戒宣言発令 消火・避難誘導活動	本園分園合同で行なう。散歩に向かう際の時間帯だったので、園内にいる時とは違った場面での訓練となった。

## 防犯訓練

月	発生時刻	侵入場所	避難場所	留意点
4/20	9:30	玄関	乳児・一時 各クラス さくら・けやき ホール いちよう 保育室 分園 保育室	・不審者の合言葉を確認する。 ・保育者の指示に従い避難の方法を知る。
5/25	15:50	テラス	乳児・一時 各クラス さくら・けやき 玄関 いちよう 玄関 分園 風呂場	・不審者の合言葉を確認する。 ・いちよう南側テラスから侵入した際の避難場所、連絡方法の確認。
6/29	10:00	園外・散歩先	近くで安全な場所 帰園	・市より連絡を受けた不審者情報に基づき、連絡、帰園方法の確認。 ・本園・分園合同。
7/28	土曜9:30	事務室	0歳 保育室 1～5歳児 ペんぎん保育室	・保育者の指示に従い避難の方法を知る。
8/31	8:00	玄関	乳児 乳児テラス 幼児 ホール 分園 風呂場	・幼児早番の職員の指示に従い慌てずに避難する。
9/18	18:15	庭	乳児 ペんぎん保育室 幼児 玄関 分園 はと保育室	・延長番職員の指示に従い慌てずに避難する。
10/21	10:00	園外・散歩先	近くで安全な場所	・園外保育中に交通事故に遭遇した際の連絡、避難方法について検討する。本園・分園合同。
11/30	9:45	ホール	乳児・一時 各クラス さくら・けやき 玄関 いちよう 保育室 分園 保育室	・ホールから侵入した際の避難場所、連絡方法の確認。 ・本園・分園合同。
12/21	7:30	庭	乳児 ペんぎん保育室 幼児 玄関	・乳児早番の職員の指示に従い慌てずに避難する。
1/25	17:30	玄関	乳児 ペんぎん保育室 幼児 ホール 分園 風呂場	・夕方中遅番の職員の指示に従い慌てずに避難する。
2/22	9:30	庭から玄関	乳児・一時 各クラス	・非常ベルの音を聞き保育者の指示

			さくら・けやき ホール いちよう保育室 分園 保育室	に従い静かに非難する。
3/18	10:00 予告なし	本園・調理室入口 分園・風呂場	乳児・一時 各クラス さくら・けやき ホール いちよう 庭 分園 庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理室職員の指示に従い避難の方法を知る。</li> <li>・年長児は一人で行動する際の注意点を知る。</li> </ul>